



2019 令和元年 8

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5  
☎ 3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階 A号  
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

# 令和の夏彩る5,000発

令和元年 狛江・多摩川花火大会（狛江市観光協会主催、狛江・多摩川花火大会実行委員会企画運営、狛江市共催、川崎市後援）が7日（水）に多摩川緑地公園グランドで開催される。

平成27年の市制45周年を記念して開催された花火大会から4年ぶり、午後6時30分にステージ・セレモニーが開幕、狛江市の太鼓グループ「Switch!」とパフォーマンス集団「コマエンジェル」が出演、特設ステージで約1時間にわたる演奏、大会を盛り上げる。

7時30分からの花火大会は、約50分にわたってスターマインに加え色や大きさや形など変化に富んだ花火約5,000発が夏の夜空を彩る。また、想いを花火に託すメッセージ花火も人気を集めそうだ。音楽と花火の競演「ハナビリビューション」に加え、フィナーレでは多摩川に渡した全長約200mのナイアガラが川面を彩る。

浴衣を着て来場した先着300人にハンカチタオルをプレゼントする「花火×浴衣＝満喫!」キャンペーンを行う。

問い合わせ ☎3430-1111 狛江・多摩川花火大会実行委員会事務局（地域活性課）。

## 膨大な準備作業

花火大会は昨年8月8日に開催される予定だったが、台風の接近によって前日に中止が発表された。その後、市民や関係者から実現を望む声の主催者や市に多く寄せられ、そうした要望を受けて11月に再チャレンジを決め、開催に



## 令和元年 狛江・多摩川花火大会 7日夜に多摩川緑地公園グランドで

向けて準備がスタート。実行委員会が中心となって計画の立案、協賛の呼びかけなどの準備が進められてきた。

花火大会の開催には多方面にわたる膨大な準備作業が必要となる。

大会のメインとなる花火の打ち上げは、今回も（株）丸玉屋小勝煙火店（本社：府中市押立町）が担当する。

狛江市の花火大会を担当するこの道約35年のベテラン花火師黒川裕司さん（54）によると、狛江市の場合、約半年前に主催者の希望に沿って打ち上げる花火の数や種類、演出など大会の概要を決める。続いて茨城県と山梨県にある工場で花火を製作する。それに加え、花火の打ち上げを制御するプログラムをコンピュータに入力する作業を2～3カ月前から行うが、音楽と花火を同期させるハナビリビューションの入力には、かなり時間と手間がかかるという。

打ち上げ花火の会場での準備作業は、前日までに草刈りや重機を使って整地を行う。当日朝に花火をはじめとした資材を搬入し、35人ほどで準備作業を行う。花火は工場ですべてに打ち上げ用の筒に入れてセットされており、それを所定の位置に置き、点火のための電線をつなぐ作業を行うが、数が多いだけに、ミスが許されないだけに慎重に進められる。

打ち上げ自体はコンピュータを使って行うため、人力で行っていた頃と比べ大幅に省力化されたが、打ち上げ後は会場を回って、燃え残りや不発の玉が残っていないかチェックする。このチェックは翌朝早くから再度行う。

黒川さんは「狛江に限らず打ち上げ作業は目の回るような忙しさですが、たくさんの人の歓声を聞き、事故がなく終われた時はとてもうれしいです。狛江の花火大会は1カ所でたくさんの花火を打ち上げるため密度が高いのが特徴で、光や音を近くで味わえるのが魅力です。去年は使わなかった花火を廃棄せざるを得ず、私たちが悔しい思いをしましたが、ことしは無事に開催され、たくさんの人に喜んでもらえるようがんばります」と話している。

花火大会は会場の設営にも多くの人や設備が投じられる。特設ステージをはじめテント、有料席、トイレ、スロープなどの設置、照明、音響設備など運営に欠かせない作業が数日前から進められる。また、飲食などを販売する出店が狛江側65店、川崎側60店オープンする。会場では、市の職員や市民ボランティアが会場の整理や案内などに当たる。また、調布警察署、狛江消防署、狛江市消防団などが安全を確保するため警戒に当たる。

# ラジオ体操で地域の健康増進



## 狛江市ラジオ体操会連盟

狛江駅北口噴水広場のラジオ体操

狛江市ラジオ体操会連盟（荒町克己会長）は、ラジオ体操を通して心身の錬磨と地域住民の健康増進を目的に活動している。

参加者が一体となってできるラジオ体操は、電波に乗って全国に普及、狛江市内でも昭和52年に住民が岩戸八幡神社に毎朝集まって始まった。その後、市内5カ所にラジオ体操会が結成され、その連絡組織として同連盟が55年に発

足、平成7年に狛江市体育協会に加盟した。会員は当初20人ほどだったが、ピーク時には150人余りに増えた。現在は高齢者を中心に約50人が白幡菅原神社と前原公園（トンボ池公園）の2カ所で毎日体操を続けている。

61年に狛江駅北口にあった旧狛江第一小学校で全国放送のラジオ体操の夏季巡回放送が催され、約1,300人が参加、平成27年にも狛江第一中学校で約1,500人が参加して実施され、市民の関心を集めた。

連盟ではラジオ体操の普及にも力を入

れており、学校などと連携して夏休み中の子ども向けに学校でラジオ体操を指導したこともある。また、30年以上前から毎年、市民健康ラジオ体操大会を開いており、ことしは4日（水）午前6時10分～50分に狛江駅北口噴水広場で開催する。参加は無料で先着200人に参加賞を出す。

このほか、市内で行われるスポーツイベントにも積極的に協力、準備体操などの際にラジオ体操の指導を行っている。

会長の荒町さんは「ラジオ体操は最も地味なスポーツですが、毎日短時間ででき、血行が良くなり、体力を維持できます」とその効用を力説している。

問い合わせ ☎080-5517-1123 狛江市ラジオ体操会連盟 荒町さん。

# 生涯スポーツ・文化の普及目指す



## 狛〇くらぶ

ノルディックウォーキング

「狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（愛称＝狛〇くらぶ）」（島本和彦会長）は幅広い年代を対象に生涯スポーツで健康寿命を延ばし、地域コミュニケーション作りのための活動を行っている。

同クラブは、文部科学省のスポーツ振興計画に基づいて平成16年に策定された狛江市スポーツ振興計画に沿って、市内に住む人がいつでもスポーツや文化活動を気軽に楽しめる場作りを目的に23年に設立された。当初の会員は約100人だったが、現在は中高年を中心に200人以上が登録している。狛江市民総合体育館と西和泉体育館を活動の拠点とし、市民を対象にスポーツと文化の教室を開講、理事を兼任する

20人のコーチが指導にあたっている。スポーツはノルディックウォーキング、バレーボール、テニス、ショートテニス、バドミントン、卓球、健康体操、スポーツ吹矢、文化は書道で、だれでも気軽に楽しみ、各教室にはコーチがいる。また、狛江市と共同開催でビーチボール、バドミントン、バスケット、陸上競技などの教室も開いている。定期的に開催する教室に加え、これまでに着衣水泳、スポーツけん玉などの講習会や体験教室などを開いた。中高年を対象にした教室が多かったが、スポーツが未経験な子どもを対象にしたサッカー教室を7月から始めた。

クラブにはだれでも入会でき、入会金1,000円、年会費1,000円のほか、教室ごとに参加費（200～500円）などが必要。会員以外の参加もできる。クラブでは「自分のペースでコツコツ

がモットーなので、気軽に参加してください」と呼びかけている。

問い合わせ ☎090-1461-6382 info@komawa.jp 狛〇くらぶ。

## 8月のスポーツカレンダー

- 体操教室（男女）5・19・26日 19：00市民総合体育館 狛〇くらぶ ☎090-5829-8069 前川
  - バドミントン5・19・26日 11：25西和泉体育館 狛〇くらぶ ☎080-1327-9789 松沼
  - ショートテニス6・20・27日 11：25西和泉体育館 狛〇くらぶ 松沼
  - 体操教室（女性）7・21・28日 11：30市民総合体育館 狛〇くらぶ 前川
  - バレーボール7・21・28日 16：15西和泉体育館 狛〇くらぶ 松沼
  - 吹き矢教室8日 9：00・24日 11：25市民総合体育館 狛〇くらぶ ☎090-1437-2420 田村
  - 卓球を楽しむ会12日 9：00市民総合体育館 狛〇くらぶ ☎090-9103-7131 山本
- \* イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、お問い合わせ先（2回目以降は電話番号省略）の順。